

1週間順延の後に各倶楽部の気迫が爆発

鹿沼CCが2打差で成田東CCに競り勝つ！

1週間前の競技当日は朝の9時に台風接近で順延と決まり、9時半にはもう送迎バスで帰途に着いた。でも東海道線が途中で不通になり、コースを出てから品川駅まで合計で5時間もかかった。

平成28年度関東女子倶楽部対抗勝競技が、8月29日(月)に改めて開催された。この日も台風の進路によっては競技中断の恐れがあつたが、なんとドラマチックなゴルフ日和じゃないか。台風の余波で突然の突風やにわか雨があつても、自然の面白い演出に感じてしまうほじだ。

関東女子倶楽部対抗は「オール関東」のゴルフの祭典なのだから、やはりお祭り気分を楽しむくては。

選手の明るさとチームの好調さは、必ずしもマッチしないようだ。下位に沈んでも元気なチームは、今後の成長に期待できるだろう。最下位だったメイプルポイントゴルフクラブは、既成のウェアの袖



を取るなどのリフォームをして楽しみ、笑顔にとてもよく似合っていた。

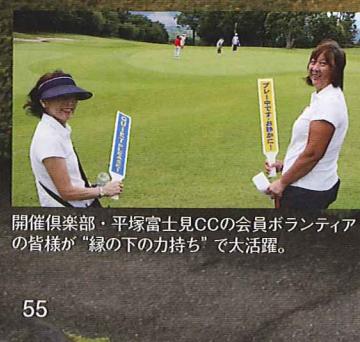
逆に選手の元気がそのまま結果に現れたのが、鹿沼カントリー倶楽部だろう。各選手は2年前の雪辱に燃えて……なんてプレッシャーとは無縁でゴルフを楽しんでいたようだ。

「今日のためと決めたウエアとは、別なもの着てきた選手もいます。でも競技は参加することに意義があると同時に、勝たなければ意味がないとも思います」とは、鹿沼CCのエース格の角田選手。

2打差で惜敗した成田東カントリーカラーブの小川キャプテンは「この競技の開始から7年間、ずっとベスト6内にいることが誇りです。全員が仕事の合間にゴルフですが、ゴルフがとにかく好きなんですね」と、チームワークが強さの秘訣と自慢する。

この日は関東女子ミッドゴルフ選手権の予選競技と日程が重なってしまう、有力選手の不参加も目

①本年度の最優秀選手賞の鈴木郁子(鹿沼)。②栃木会場予選・ベストスコア賞の北原綾子(鹿沼)。③茨城会場予選・ベストスコア賞の塚原いづみ(桜)。④静岡会場予選・ベストスコア賞の細野ハヅ季(沼津)。⑤神奈川会場予選・ベストスコア賞の今井信子(箱根)。⑥千葉第1会場予選・ベストスコア賞の吉田茜(姉ヶ崎)。⑦開催倶楽部の実力者・加藤理刈(平塚富士見)。



開催倶楽部・平塚富士見CCの会員ボランティアの皆様が“緑の下の力持ち”で大活躍。

関東女子倶楽部対抗決勝競技

参加倶楽部34／出場選手136名



優勝

鹿沼カントリー倶楽部／232ストローク



2位

成田東カントリークラブ／234ストローク



3位

姉ヶ崎カントリー倶楽部／236ストローク



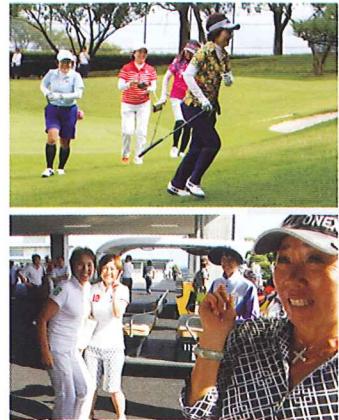
4位

富里ゴルフ倶楽部／238ストローク



5位

平塚富士見カントリークラブ／243ストローク



スコアボード(画面ディスプレイ)に成績が発表された瞬間、大喜びする鹿沼CCの角田選手(左)と最優秀選手賞の鈴木選手(中)。2人を祝福する右手前的小川選手(成田東)のスポーツmanshipも立派。

最優秀選手賞



左から。開催倶楽部・平塚富士見CCの平松理事と高野理事。

右上から下へ。優勝/鹿沼カントリー倶楽部／232 ● 2位/成田東カントリークラブ／234 ● 3位/姉ヶ崎カントリー倶楽部／236 ● 4位/富里ゴルフ倶楽部／238 ● 5位/平塚富士見カントリークラブ／243 ● 6位/京カントリークラブ／244 ● 7位/扶桑カントリー倶楽部／244 ● 8位/岡部チサンカントリークラブ／245 ● 9位/石坂ゴルフ倶楽部／246 ● 10位/沼津ゴルフ倶楽部／246 ● 11位/浦和ゴルフ倶楽部／247 ● 12位/ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン／247 ● 13位/穂高カントリークラブ／248 ● 14位/木更津ゴルフ倶楽部／249 ● 15位/総武カントリークラブ／249 ● 16位/赤城ゴルフ倶楽部／249 ● 17位/芳賀カントリークラブ／250 ● 18位/大相模カントリークラブ／252 ● 19位/箱根カントリー倶楽部／252 ● 20位/長野カントリークラブ／252 ● 21位/東松苑ゴルフ倶楽部／252 ● 22位/白水ゴルフ倶楽部／254 ● 23位/浜松シーサイドゴルフクラブ／254 ● 24位/相模カントリー倶楽部／254 ● 25位/ニッソーカントリークラブ／255 ● 26位/八王子カントリークラブ／257 ● 27位/嵐山カントリークラブ／260 ● 28位/レーサムゴルフ&スパリゾート／261 ● 29位/セントラルゴルフ倶楽部／261 ● 30位/青梅ゴルフ倶楽部／263 ● 31位/都留カントリー倶楽部／263 ● 32位/桜ゴルフ倶楽部／264 ● 33位/江戸崎カントリー倶楽部／272 ● 34位/マイブルポイントゴルフクラブ／282



立った。そんな中、2打差で優勝を競った鹿沼CCと成田東CCは、予選競技も決勝競技も、まったくメンバーを変えていない。鹿沼CCの北原選手は「年間8回ある倶楽部内の選考会の成績次第ですから、女子倶楽部対抗への出場は公式競技の出場よりも難しいほどです」とのこと。

成田東CCの田中選手は1週間前の予定だった競技は順延が決まる、荒天をものともせずにそのままトランボ帰りした。勤務地が沖縄で休暇もままたないそうだ。そして今回、また台風接近の中を模灣上空を飛ぶ飛行機の右側座席から、地上の仲間にエールを送っていたのかもしれない。



**FAIRWAY
COLLECTION**
2016 Summer

注・数字は決勝競技の順位